

緑と清流のまち

わかさ 議会だより

第145号
平成25年
8月号

WAKASA TOWN



議会事務局のアドレスへ



清流の鮎をねらう

第1回若桜町鮎釣り大会

- P. 2 6月定例会議案
- P. 4～9 一般質問Q&A
- P. 12 わたしの想い（川東さん、岩村さん）

六月議会定例会

木質バイオマス事業 本格始動！

平成25年度第3回議会定例会は6月11日に招集され、町から提出された15議案と議員提出5議案を慎重に審議の結果、可決し6月14日に閉会した。

平成25年度
一般会計総額

35億1389万円

9489万円を追加補正

予算

○平成25年度一般会計補正予算

(第1号)

主な歳入	
国庫補助金	597万円
県補助金	490万円
繰越金	8580万円
主な歳出	
財政調整基金積立金	5000万円
若桜町観光開発事業団貸付金	2000万円
経営体育成支援事業費補助金	300万円
特産品開発支援事業	165万円
若桜商工業にぎわい創出事業(かりや空調設備設置)	86万円

水ノ山高原の宿 氷太くん管理運営事業(喫煙室設置) 100万円

国際交流事業(平昌郡との若桜学園児童交流人員追加分他) 88万円

○平成25年度若桜町国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)

主な歳入

繰越金 1444万円

主な歳出 財政調整基金積立金 1400万円

○平成25年度若桜町介護保険事業特別会計補正予算(第1号)

主な歳入

繰越金 1782万円

主な歳出 介護給付費準備基金積立金 585万円

○平成25年度若桜町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

主な歳入

繰越金 5千円

主な歳出

予備費 5千円

○平成25年度若桜町簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)

主な歳入

繰越金 103万円

主な歳出

予備費 103万円

○平成25年度若桜町公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)

主な歳入

繰入金 206万円

主な歳出

公共下水道費 ▲206万円



エアコン設置された休憩処かりや

○平成25年度若桜町索道事業特別会計補正予算(第1号)

主な歳入

繰越金 700万円

主な歳出

索道管理費積立金 700万円

条例

○若桜町獣肉解体処理施設の設置及び管理に関する条例の制定について

○若桜町職員の給与に関する条例の一部改正について

○若桜町立若桜町民体育館の設置及び管理に関する条例の一部改正について

○若桜町トイレ施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について

○氷ノ山高原の宿氷太くんの設置及び管理に関する条例の一部改正について

○若桜町公共下水道条例の一部改正について

こゝに

その他

◆工事請負契約の締結について

若桜町立学校給食センター改築工事

株式会社森下久平商店 (厨房機器)

契約先 株式会社森下久平商店

契約金額 5762万円

五月臨時会

5月21日

給食センター工事着手！

法改正に伴う条例改正

専決処分の承認

◆平成24年度若桜町一般会計補正予算(第6号)

特別交付税の増額に伴い、5479万円を追加し、総額33億6549万円とするもの。

◆平成24年度若桜町簡易水道事業特別会計補正予算(第5号)

町債の減額と一般会計からの繰入で、85万円を増額し、総額9052万円とするもの。

◆平成24年度若桜町赤松団地造成事業特別会計補正予算(第2号)

不動産売却収入の減額と一般会計からの繰入で、378万円を減額し、総額678万円とするもの。

◆若桜町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

わかさこども園の開設に伴い、教諭・園長等の職務内容を追加するもの。



その他

◆工事請負契約の締結について

若桜町立学校給食センター改築工事

契約先 株式会社森下久平商店

契約金額 1億7404万円

WAKASA

陳情書審査結果

6月議会定例会において常任委員会に付託した陳情は、慎重な審査の結果、次のとおり決定しました。

番号	受理年月日	件名	陳情者等	付託委員会名	審査結果
陳情6号	平成25年4月12日	陳情書(農業用水路整備費に係る受益者負担率の軽減のお願い)	香田自治会長 山根 幸吉	総務産業常任委員会	趣旨採択
陳情7号	5月13日	デフレ不況からの脱却と地域経済の振興に向けて最低賃金の改善と中小企業支援策の拡充を求める陳情書	鳥取県労働組合総連合 議長 田中 暁	総務産業常任委員会	採 択
陳情8号	5月16日	日本のTPP(環太平洋連携協定)交渉への参加反対を求める陳情書	全日本農民組合 鳥取県連合会 会長 田中 宏	総務産業常任委員会	採 択
陳情9号	5月28日	子ども・子育て支援新制度の導入に関する意見書提出を求める陳情書	鳥取の保育を考える会 会長 石井 由加利	教育民生常任委員会	不採 択
陳情10号	5月30日	地方財政の充実・強化を求める陳情	自治労鳥取県本部 執行委員長 本川 博孝 若桜町職員労働組合 執行委員長 寺西 満	総務産業常任委員会	採 択

請願・陳情は、町民の皆様が町政などについての要望等を、直接議会に書面で提出できる制度です。議長宛に議会事務局へ提出してください。提出された請願・陳情は関係の常任委員会で審査の上、本会議で採決し、採択された請願・陳情は行政に生かされます。

詳しくは、議会事務局(☎82-2212)にお問い合わせください。

請願
陳情

Q 一般質問 A

詳しくは
若桜町ホームページ→各課のご案内→議会事務局→会議録



質問者
中尾 理明 議員
坂本 等 議員
山本 晴隆 議員
上川 裕見子 議員
前住 孝行 議員
川上 守 議員

6月議会定例会の一般質問は、6月12日に行われ、6人の議員が町政の課題について質問しました。質問の要旨と町長の答弁を要約して紹介します。



坂本 等 議員

Q ①本町の人口は年平均115人減少しています。将来推計人口では、2040年には1750人、一番危惧するのは0歳から14歳までの年少人口で77人となる推計です。
この現状をどのように考察されますか。
②特効薬は無く多岐多様の施策が必要です。人口減少の歯止めについて理念を伺います。

人口問題 減少の歯止めは 長期的な視野で スピード感を持った施策を

A ①本町の人口は年平均115人減少しています。将来推計人口では、2040年には1750人、一番危惧するのは0歳から14歳までの年少人口で77人となる推計です。
②この現状をどのように考察されますか。
③雇用問題が第1と考えますが、アロイ工業(株)に続く新たな企業誘致について伺います。
④人口問題を専門的に考える「人口減対策プロジェクトチーム」(仮)を設置してはどうですか。

小林昌司町長



中尾 理明 議員

Q 若桜材利用の住宅に対する県補助に伴う町の上乗せは、昨年度1件3万円が実績とのことで、22年度は3件40万円、23年度は利用がなかったと私は確認しています。若桜材の利用状況についての検討はなされましたか。

小林昌司町長

A 若桜材を使って、どれだけ改築されたのか正確には把握はしていませんが、各製材所に町民の方が改築時、買いに来られると聞いています。
Q 若桜材使用住宅建設補助は、使い勝手が悪いと思います。多用途可能な制度に変える必要はないですか。
A 住宅建設は、所有者自らの責任で行うものです。補助については、町産材の利用促進、移住定住支援等、目的を持った制度を作っています。包括的な助成制度の創設は考えていません。
Q この要綱をみると、補助金の交付申請は県の補助決定通知を受けた日から30日以内とされ、県の事業採択がなければ上乗せ申請もできないという困難性もあります。若美町では下水道工事などに利用できる制度が

住家リフォーム制度 多用途可能な再編を 新たな助成制度は考えていない

あり、本町でも望まれます。県内では5市町でリフォーム助成を実施、財源も一般財源だけでなく、北栄町は地域活性化交付金、若美町は過疎対策事業債を活用しています。こうした点も検討の材料にすべきです。5月に開催した議会報告会でもリフォームに対する補助の要望が出されています。また、住生活基本法は計画の指標の1つにリフォームの実施率を掲げており、国はリフォーム施策を特別重視しているものと考えます。再度伺います。

小林町長

A リフォーム制度については理解しましたが、町の方針としてどのような補助金を出すかが一番大事なことだと思います。公共事業についても若桜の皆さんに仕事をしたい。こうした小さい事業者にも出し、大工さんにも仕事があるようにしています。今後もこの方針通り地域の方々の仕事

鬼ヶ城跡 管理、景観対策は 眺望を阻害する樹木を伐採

Q ①国の史跡に指定された若桜鬼ヶ城跡は、本町の宝として次世代に伝えるのもよ、町民の憩いの場として、観光資源として活用が必要だと思います。来訪者は年間何人ぐらいですか。
②一木一草が文化財という諺もありますが、管理状況、景観対策について現状を伺います。
③和田山の天空の城、日本マチュピチュと呼ばれる竹田城跡と競うわけではないが、眺望がすばらしい。新たな取り組みは。
④鬼ヶ城跡保存管理計画書に記述されている、整備活用計画の策定状況を伺います。

高木政寛教育長



鬼ヶ城跡から見る宿内

A ①山頂の小屋に設置している記帳簿と史跡を会場としたイベントの参加人数を基に千名弱と見込んでいます。
②東屋や、作業小屋等が老朽化しており、改修又は撤去し、植生については眺望等を阻害する樹木の伐採を行います。山頂の遺構は、鳥獣被害対策として進入防止電気柵を設置します。
③鬼ヶ城跡の特徴のひとつは眺望です。天守台からは播磨道と但馬道が一望、三の丸から見る若桜宿などビューポイントがたくさんあります。

米軍機 低空飛行訓練 中止を 働きかけた

Q 5月21日、夜9時50分と、55分に米軍機(推定)が若桜上空に轟音を残して往復しました。町として真相の究明と、低空飛行中止に向けた取り組みの強化を求めます。

小林町長

A この件については、翌日、県と美保防衛事務所に報告すると共に事実確認を県に要請しました。しかし、県からは「米軍の訓練情報が公表されていないので、確認できない」との連絡がありました。訓練中止については、県から外務省、また、美保防衛事務所から中四国防衛局へ要請するよう県の取り組みを強く働きかけていきたいと思っています。



若桜上空を飛んでいるであろう米軍機 (Yahoo Japan HPより)

Q 中止に向け、国への直接要請もすべきです。またオスプレイの飛行訓練中止の意見書を提出した日南町と八頭郡3町、鳥取市など飛行訓練の関係自治体で連絡会を組織する取り組みが必要ではないですか。

小林町長

A 県の行政懇談会等でこの問題について、発言しています。やはり県と足並みを揃えて取り組みたいと思っていますし、運動は続けていきたいと思っています。

この他「道州制」について質問をされました。

竹田城と違うのは、鬼ヶ城は破城で破却した城として指定を受けています。石垣を崩したまま保存するものです。
④町主導で整備活用計画を策定するには、町の管理団体の指定が必須条件です。地権者の同意をいただく文化庁に申請をする準備を進めています。

若桜下三河線 施工に向けて 県へ要請を 早期着手を 知事に要望する

Q 主要地方道若桜下三河線岩屋堂地内の改良設計ができていますが、施工に向けて県へ要請する行動予定を伺います。

小林町長

A 全体事業費8億5千万円、山手をオープンカットするバイパス工事の設計はできています。吉川、岩屋堂地域の振興のために必要な道であり、早期の事業着手を知事に要望します。

Q 一般質問 A



上川裕見子 議員

Q 可燃と資源ごみステーション数に大差があるか。

小林昌司町長

A 可燃と資源ごみステーション数に大差があるか。宿内は、ごみステーションが近くにあり大変助かっています。一方、在部では、資源ごみステーションが1ヶ所しかないところもあり、不便な思いをされています。高齢化でごみ出しも大変になってきており、見直しが必要ではないですか。

Q 複数の集落が、鉄板製可燃ごみ集積箱を設置されていますが、更新時期がきています。更新時期が必要で、頑丈なものではなくてはなりません。町で一括して作成して幹旋する、あるいは、助成制度を設けることはできませんか。

小林町長

A 集落の責任で設置されていますので、町が一括して作成することは、考えていません。元氣だで村づくり交付金制度や



老朽化の進むごみステーション

資源ごみ回収報奨金を活用して、工夫しながら取り組んでいきたいと思っています。

Q 岡山東赤磐市にはストックヤードがあり、集落ステーションにあるヨド物置のようなもので、まとめて保管し、回収しています。物置設置には、町の施策と関連した中で、助成制度があることを議会報告会で話したところ、複数の集落から本町にもあったらとの声がありました。

また、池田地区ストックヤードは、段差や床が抜けそうになっているとの指摘がありました。

本町でも香田が公園に小屋を建て新聞紙をス

ごみステーション

整備助成制度の創設は考えていない

る集落は4集落です。設置できない理由は、積雪や道幅問題などです。問題のある集落は、協議しながら最小必要限度での検討をしたいと思っています。

Q 一般質問 A



山本 晴隆 議員

Q アロイ工業(株)の誘致が遅れている原因と、会社関係者が今年、本町に来られた回数、内容を伺います。

小林昌司町長

A 現在、建設中の鳥取工場が、完成予定より、2ヶ月遅れています。9月下旬に、若桜工場と同時操業できる予定です。7月には、町と賃貸借契約を締結し、操業準備に入れる見込みです。来庁回数は3回で、内容は、

アロイ工業

誘致の時期は9月に操業予定

進出にあたっての支援、校舎等の賃貸借契約などの協議を行っています。

Q 地域住民の意見も参考に、契約等を進めていただきたいと思いが、会社関係者、担当課などで住民説明会を行えないか、伺います。

小林町長

A アロイ工業の役員の方から、地域のみなさんと仲良くしたいと伺っています。創業前には直接、地域住民に説明される用意もあると、報告を受けています。

自主防災

地域防災訓練 実施は今年度中に 行いたい

Q 議会報告会で、災害を想定した避難訓練が実



避難用の車椅子とリヤカー

施できないかとの意見がありました。赤松地区で行われたような大規模訓練ではなく、防災専門員に計画していただき、集落単位で住民密着型の避難訓練を重ねていけば、住民の皆さんの安心安全につながると思います。が、所見を伺います。

小林町長

A 5月に、宿内の7集落の代表者と、自主防災講習会を実施しました。防災専門員を中心に自主防災組織の必要性について説明協議する機会を設け、自主防災組織の結成を考えています。本年度は10月下旬頃に防災訓練

町内観光

名所の整備は 相談から進めたい

を実施するように現在検討しています。災害発生時に備え、地域ぐるみで、防災組織の育成、集落単位での訓練を重ねることは大変良いことだと思っています。

Q 小さな観光名所の整備管理等を町が行うのは大変だと思いが、集落ボランティア団体等に協力をお願いされてはどうか、伺います。

小林町長

A 高齢化で、維持管理が困難になってきている現状ですが、村づくり交付金などを活用していただきながら、今後も、集落単位での維持管理をお願いしたいと思っています。地域ボランティアや各種団体を募り、清掃活動を行っていただければ、町としては大変ありがたいと思います。

Q 不動院若屋堂近くにある、骨重入り五輪塔へ行く道は、とても狭く大変危険な状態です。観光客の中には、高齢者も多く、若桜町内の観光を楽しんでいただくために、事故が起きる前に整備ができないか、伺います。

小林町長

A 昨年度も多くの観光客を受け入れています。この五輪塔は、町指定文化財で、見学に組み入れています。しかしこの道は、里道で川沿いの道は幅も狭く、非常に歩きにくい状況です。

整備の必要を感じていますが、農地、墓地があることから維持管理は関係者でお願いしたいと思っています。整備にあたっては現物支給などの制度があり、活用していただきながら、町と教育委員会、観光ガイド、集落の皆さんとまず、話し合いから進めてみたいと思っています。

町民運動会

種目にゲーム感覚を取り入れては 話してみる

Q 安全に配慮した防災リレーや名所巡りなどをテーマにした、誰もが参加でき、啓発や発見につながるゲーム感覚を取り入れた種目を考えてはいるかがでしょうか。

高木政寛教育長

A 競技種目は、スポーツ推進委員会等が協議し決定していますので、話をさせていただきます。

Q 健康づくりを考える良い機会です。唾液ストレスチェックなどの健康チェックコーナーを設けてはいるかがですか。

高木教育長

A ポスターの掲示などによる啓発活動は可能です。どんな方法がいいのか、関係機関等に相談をして判断したいと思っています。

Q 一般質問 A



川上 守 議員

Q 自治会長から、集落への周知の仕方がさまざまです。補助事業や制度について、知らない住民の方が多くおられますが、所見を伺います。

小林昌司町長
A 身近な仕事や補助を説明していますが、各自治会長によって温度差があるように思っており、検討をしたいと思えます。具体的には、町報に毎

小林町長
A 短い応募期間にも拘らず、兵庫県から3名、愛知県から1名の応募がありました。応募者全員を1次審査合格とし、2次審査で、林業従事に対する意気込み、若桜町に

小林町長
A 8月から9月中旬までは、八頭中央森林組合の若桜事業所で山林業務の研修を行っていた。き、特別教育と就業に必要な研修を受講していく準備もしています。9月後半から11月下旬までの期間は町有林内に



導入予定の移動式チッパー

小林町長
A 若桜素材生産共同体において、団地化が行われる中で、その能力を十分に発揮していただきたいと思います。

小林町長
A 役場各課からの行政情報、各種団体からのお知らせ、お元気ですかコール、会議の出欠報告、そして、テレビ電話や防災カメラなど様々な活用の仕方と併せて、新たに動画の配信について

Q 一般質問 A



前住 孝行 議員

小林昌司町長
A 概ね全集落の調査を終了しています。調査の結果、本町全体で224軒の空き家が存在していることが分かりました。所有者に空き家バンクに登録していただき移住希望者に紹介できる体制を取っており、これまでの

小林町長
A 基本的には補助金等考えていません。まず、所有者が当然処理すべき問題です。説得していくべきだと思っています。

小林町長
A 昨年、若桜米ひとめぼれが、東洋ライスのおかげで東京丸の内のタニタ食堂に提供されて好評を得ており、大変うれしく思っています。



若桜米の価値を高く！

小林町長
A 役場各課からの行政情報、各種団体からのお知らせ、お元気ですかコール、会議の出欠報告、そして、テレビ電話や防災カメラなど様々な活用の仕方と併せて、新たに動画の配信について



様々な情報通信機器

小林町長
A 若桜町で10名程度設置することについては大変困難であると思えます。どの業務においても十分な人員確保ができていない状況なので、ご理解をいただきたいと思います。

空き家対策

空き家調査の進捗は
全集落調査し、紹介できる体制に

Q 昨年度より空き家調査が行われていますが、空き家調査進捗状況について伺います。

と17軒の登録があります。平成24年度のこの空き家バンク利用による移住件数は1件で、登録物件以外にも移住相談員による移住支援実績は2件でした。また、現在継続中の相談件数が5件あります。

Q 著しく老朽化が進んでいる空き家について、周辺住民が倒壊による危険性を訴えておられます。持ち主の背中を押す意味で老朽化した家屋の解体補助金が制定できないですか。

若桜米

米価の上がる施策は
ブランド化を図り、検討していきたい

Q 昨今、若桜米が注目されていますが、所見をお尋ねします。

小林町長
A 昨年、若桜米ひとめぼれが、東洋ライスのおかげで東京丸の内のタニタ食堂に提供されて好評を得ており、大変うれしく思っています。

よい方策がないかお尋ねします。

小林町長
A 県内外への販売拡大の推進の一つとして、若桜米がアピールできる新デザインの米袋による販売を計画しています。さらに、品質の向上を図るために堆肥散布機械を導入して、有機堆肥による耕作の支援も行っていくところです。

情報化社会

相談できる体制は大変困難

Q IP告知端末機の今後の活用展開について伺います。

小林町長
A 役場各課からの行政情報、各種団体からのお知らせ、お元気ですかコール、会議の出欠報告、そして、テレビ電話や防災カメラなど様々な活用の仕方と併せて、新たに動画の配信について

検討をしたいと考えています。

小林町長
Q 情報化社会についていけず、諦めているかたが多くあるのではないかと見受けられます。提案として、「情報技術専門員」10名程度を設置して、町民が気軽にICT（情報通信技術）について相談できればと思います。所見を伺います。

委員会活動報告

総務産業 常任委員会

平成25年 4月23日 産業観光課の事業報告・説明

説明 木質バイオマス資源活用事業、林業専用道事業の発注時期、獣肉解体処理場負担金、アロイ工業㈱、氷ノ山ユースホステルの管理、町営第2リフト改修工事、氷太くんの修繕箇所の説明。

Q 木質バイオマス燃料で、熱源活用と発電を行っている、採算に合うのか。この事業は、山林資源を有効活用する補助事業で、慎重に進める必要があると思うが。

A 県としては、発電計画が先行しているが、熱源活用を考えている。採算については、一人雇用して、間伐材を搬出し、経費等のデータを集めたい。今後も調査、研究を行う。



木質バイオマス燃料ボイラー

Q 獣肉解体処理場はすでに完成しているが、両町の運営負担額が決定していない。緊急雇用されている処理施設専門員の負担割は、どうなのか。

A 整備費、運営費負担は五分五分で話している。今の専門員は若桜町内の緊急雇用事業なので八頭町負担は無い。今後については八頭町と改めて相談する。

Q アロイ工業㈱を支援するには、条例が必要では。

A アロイ工業㈱限定ではなく、新規の操業・規模拡大に対する雇用等を含めて策定したい。

Q ユースホステルの取り扱いはどのようにするのか。

A 解体する予定だが、生産組合が茅の保管に使用したいと聞いている。

6月5日 6月定例会に向けて

企画財政課

Q 阪南大学と連携して、「観光資源発掘・地域産業の活性化」としているが、具体的な考えは。

A 外部からの若者目線で、資源の売り出し方・受入態勢などの改善点を探りたい。交流人口増加の取り組みや、学生の研究材料にもなり、双方の成果を期待している。

総務課

Q 自主防災の講習会は、今後行うのか。また、救助用具などは具体的に何を考えているのか。

A 自治会でどの様に進めるか、検討、相談して欲しい。防災専門員による指導や用具（担架、ヘルメット、消耗品など）を考えている。



非常用発電室（道の駅）

産業観光課

Q 若桜木材協同組合の経営状況についてはどうか。

A 経営状況は上向きで、今年度は、早い時期に関係者で経営分析協議会があり、産業観光課も参加する予定。

Q 観光協会の体制についてはどうなのか。

A 観光協会の問題は重要だと考えている。協会・町・協会の連携が上手にできてなかった。今後、町も十分サポートを行う。

教育民生 常任委員会

平成25年 6月6日 6月定例会に向けて

町民福祉課

Q シルバー人材センターの経営状況は。

A 昨年度は、事業のスタートが6月からであり、24年度の受託収入は、100万円。今年度は、200万円を目標に頑張っていた。現在の会員数は21名。

説明 認知症診断タッチパネルによる早期発見・ABI検査（足関節上腕血圧比検査）を、8月より各集落へ外向き行う予定。



ABI 検査の様子

説明 若桜町は、内臓系の癌が他町に比べて多い。県と相談し、鳥大医学部の教授に調査依頼ができないかお願いしている。

町土整備課

Q お試し住宅の応募は、何人あったのか。

A 5人あったが一人辞退された。家庭菜園をしたい方もいるようで、若桜での生活を、1～3ヶ月間体験していただき、最終的には、移住につなげたい。

説明 定期借地権については、3件の申し込みがあり、予約済み。

教育委員会

Q 文化財保護費でのパンフレット作成は、どれくらいの部数を作るのか。

A 落折の隠れ岩は3,000部、不動院岩屋堂は4,000部作成する。

Q 鬼ヶ城跡の電気柵設置は、効果が得られるのか。

A 出入り口を何方か設けるなど、安全面に配慮し、石がけの外側に高さ1.5mで設置したいと思っている。

意見

給食センター改築工事での、予算と入札価格の請差については、慎重に扱うべきだ。

Q 旧小学校体育館前のトイレが完成したが、体育館使用時だけでなく、常時利用できるのか。

A 公衆トイレの位置付けなので、常時利用できる。



新設された公衆トイレ

4月11日の現地調査の追跡

池田分館

指摘していた松の処理費が6月定例会に提案され対応された。

鬼ヶ城跡

史跡保存の対策として、鳥獣被害防止の電気柵の設置が決定された。

わたしの想い



このコーナーでは、議会、議員や議会だより等に関わる町民の皆さんからの御要望や率直なご意見を紹介いたします。



新しい息子の町

川東 義典さん
(須澄)

鳥取市から若桜町に工場を移転し、早10年。家を買ひ、結婚し、そして、今年長男が誕生しました。

今までは、仕事が忙しく町のことはあまり深く考えていませんでした。しかし、親父となったことで、この町で成長させてもらう子どものことを考えるようになりました。

町内の皆様方は、過疎化に頭を悩ませてるようですが、他県から来た者からすれば、逆に人が少なく騒音もなく、のんびりした感じがすごくイイ感じです。

コンビニはないが、雄大な景色、夜空には満天の星たち・・・。

都会の中高年の夢は、田舎暮らしをしたい人が多いと聞きます。

永住は無理でも、週末を利用して都会から訪れることが可能な農家、農地の提供なんてものでしょうか。多少なりとも町の活性化につながると思います。

これから我が子のため、町のため、何ができるか分かりませんが、若桜町と深く関係していきたいと思っています。

移動販売車に乗って

岩村 志保さん
(上町)

若桜町からの補助金を受け、始まった移動販売車。早いもので半年を過ぎようとしています。

最初は、予定の時間を大幅に遅れたり、雪が降りしきる中、長い時間お客様を待たせてしまう事があつたりしましたが、ようやくスムーズに回る事ができるようになりました。顔なじみのお客様も増え、車の周りで料理講習が始まったり、様々な情報交換の場になったりして、昔の井戸端会議のような移動販売車です。

そんな中、集落によっては、販売車が来ていても気づかずに買い物に出てこられないところがあり、その地区の議員さんに相談したら快く有線放送を使えるように交渉してくださいました。本当にありがたかったです。せっかく良いアイデアで始まった販売車も、利用していただいていたはじめて価値がでるものです。

これからも、ますます皆様のお役に立てるように、毎日張り切って回りたいと思います。そして、困った事があつた時には、お力添えをよろしくお願いいたします。

意見・写真をお寄せください

メール gikai@town.wakasa.tottori.jp

FAX 0858(82)2222

あとがき

参議院選挙も終わり、ねじれていた国会も自公政権に委ねることになりました。しっかりと地方の意見を訴えていきながら、若桜町が住みやすい町になるように、全力を尽くしていきたいと思ひます。

さて、4回目の議会報告会では、貴重なご意見を聴かせていただき、ありがとうございます。まもなく、各集落の意見を若桜町のホームページへ掲載します。37か所と多くありますが、ご了承くだされいます。

この報告会のご意見を参考に議会活動を前へ進めていきたいと思ひますので、今後とも議会への建設的なご意見をよろしくお願ひします。

議長 岡本 和廣
議会だより調査特別委員会

委員長 前住 孝行
副委員長 中村 敏明
委員 奈羅尾 寿夫
委員 山本 晴隆